

## 令和6年度「土木の日」記念行事 報告

日 時：令和6年11月8日（金）15:00～16:30

会 場：高松市サンポート 6階 61会議室

参加者：58名

- 15:00～15:05 挨拶 土木学会 四国支部長 武藤裕則
- 15:05～15:20 土木遺産説明 高知工科大学 重山陽一郎
- 15:20～15:30 土木学会選奨土木遺産 認定書授与式

認定遺産：瀬詰橋（せづめばし）

所在地：徳島県吉野川市

認定書授与式に先立ち、土木学会四国支部選奨土木遺産選考委員会の重山陽一郎委員長より、選奨土木遺産制度の概要と、今回認定された「瀬詰橋」の土木遺産としての価値などをご紹介いただきました。認定書授与式では、土木学会四国支部武藤裕則支部長から徳島県県土整備部道路整備課強靱化・安全対策室森泰三室長へ認定書が、道路整備課住友天音主事に銘板が授与されました。



土木学会選奨  
土木遺産  
認定書・銘板



記念撮影

- 15:30～16:30 特別講演『これまでの土木のかかわりと土木技術者の使命役割』  
東急建設株式会社代表取締役社長寺田光宏 氏より会場にてご講演いただきました。



講演の様子